

みんなのた場

サフル仲問

86
寺崎はねこ踊り保存会
踊りで地域盛り上げ
心が弾む文化を伝承



▲河南桃生商工会青年部の「はねこ塾」でも指導しています



▲昨年のもうふれあい祭で踊った寺崎はねこ踊り保存会の皆さん

県指定無形民俗文化財である寺崎はねこ踊りの伝承活動を行う「寺崎はねこ踊り保存会」は昭和42年に発足し、現在は桃生町寺崎地区の住民を中心に約30人が所属しています。踊りは国内のみならずオーストラリア等、海外でも披露し、地域間交流にもつながっています。

内版の小学校体育の副読本にも記載されています。はねこ踊りの源流は江戸時代にさかのぼります。当時たびたびの飢饉に襲われましたが、寺崎八幡神社に祈ったところ、大豊作に恵まれました。これを祝って地域を踊り回ったことが始まりともいわれていますが、もともとは寺崎の北に位置する永井地区の発祥です。寺崎へは昭和初期に伝わったとされ、基本となる踊りの「打囃子」、手踊りと豊年の歌が入る「献囃子」、早いテンポ

に合わせその場で踊る「馬鹿囃子」の3曲が確立し、現在まで受け継がれています。はねこ踊りの大イベントは毎年9月に桃生植立山公園である「ものうふれあい祭」と、4年に1度の寺崎八幡神社の大祭です。平成7年に始まったふれあい祭りでは、例年1千人以上によるパレードが行われ、その最初と最後で保存会が舞います。今年も9月12日(土)のふれあい祭りに向けた準備が大詰めです。指導や練習にもより一層熱が入っています。

寺崎地区の皆さんの心身に染みついたはねこ踊りですが、若い踊り手は不足傾向にあり、佐々木一會長(67)は「より多くの若者が踊り手として参加したくなるような活動をしたいです」と話していました。

健康コラム

第14回 高血圧って何がいけないの？

石巻市立病院 内科医員 遠藤 貴士

「血圧が高くて、どこも痛くない」「何も困っていません」「高いのは、たまたまですよ」「病院に行くのは面倒くさい」・・・。健診で指摘される人、たまたま風邪で受診したときに測定して判明する人、はたまた、高血圧と分かっているけど、何か言われるのが嫌だから受診しない人等もいらっしゃるかもしれません。おっしゃる気持ちはよく分かります。何も起こっていない(ように見える)ことに、なかなか時間と労力は使いたくないものです。

私たち医療従事者は、高血圧や他の生活習慣病のケアをしないで大きな病気をした人を知っています。それもあって「高血圧は放っておかないほうがよい」と考えます。大きな病気とは、動脈硬化が主な原因である脳梗塞や脳出血、心筋梗塞等のほか、大動脈瘤や大動脈解離等あまり知られていない病気も含まれます。これらの病気はどれも突然起こって、死に至ることもあれば、重い障害を残すこともあります。

高血圧って何がいけないのか？ それは、数値でもなく、病気になることでもなく、病気になって最終的に命を失ったり、機能が低下したりすることがよくないのだと思います。

健康に年齢を重ねるための第一歩として、ご自分の血圧に関して考えていただければ幸いです。

☆次回11月1日号は「こわ～い肺炎を予防しよう」です。



復興事業部 基盤整備課 中野雅人さん 45歳
滋賀県大津市から派遣

キラッとパチリ

住民の思いを復興へ反映

復興支援で石巻市に派遣されている職員の方から、復興事業部基盤整備課副課長の中野雅人さんを紹介いたします。

中野さんは、今年4月に滋賀県大津市から着任しました。震災時は危機防災対策の担当として、災害協定を結ぶ自治体に送る救援物資の手配に奔走しました。その後、すぐに異動になったため、被災地支援に心残りがあつたそうです。1年間の派遣ですが、巡ってきた機会に「与えられた課題をがむしゃらにこなします」と真剣です。

用地買収の経験が豊富で、石巻市でも主に用地グループのリーダーとして渡波の防災緑地用地等の取得に携わっています。グループをまとめるだけでなく、実際に市民とひざを交えます。「実感したのは、行政と市民の距離の近さです。互いに共感できる被災の痛みが、協働につながる」と信じ、住民の声を聴き、思いをくむことができれば」と話します。

単身赴任で、川開き祭りでは大漁踊りに参加する等石巻を満喫しています。「奥が深いまち。妻を連れ、魚介類を味わいたいですね」と大津市の観光キャラクター「おつ光ルくん」を手に、目を細めていました。

◆投稿募集

皆さんからの投稿をお待ちしています。テーマに沿ったあなたのとっておきの話しをお寄せください。

テーマ 「ありがとう」

日常生活の中で、皆さんの「ありがとう」に関する逸話(エピソード)をお聞かせください。

字数 400字以内

投稿方法 住所、氏名、年齢、電話番号を明記し郵送またはEメールで秘書広報課までにお送りください。

掲載の場合はペンネームを可能としますので、ペンネーム希望の場合はその旨明記してください。

注意事項 公序良俗に反するもの等やスペースの関係上、投稿いただいたものを全て掲載できるものではありません。また、字数等の関係で内容を調整させていただくことがあります。

☎ 秘書広報課(内線4023) ☎986-8501(住所不要) ✉ ispubinfo@city.ishinomaki.lg.jp

まちの話題

雄勝地区



7月19日(日)
雄勝各地区

自然の中で ランニング

「三陸・雄勝 海の幸トレイルランニング」には約200人のランナーが参加し、豊かな自然と海の幸を楽しみました。トレイルランニングは未舗装の山道を走る競技で、全国各地で大会が開かれています。雄勝では今年で4回目となりました。参加者は雄勝中心部から硯上山、上品山等の17.5~34kmの3コースに分かれて、美しい景色を眺めながらゴールを目指しました。

河北地区



8月9日(日)
河北総合センター「ビッグバン」ほか

地域の元気を発信 サマーフェスタ・イン・かほく

河北地区の夏の一大イベント「サマーフェスタ・イン・かほく」には、昨年よりも多い約9,000人が来場し、大変賑わいました。ステージでは吹奏楽、ダンベル体操、民謡、三味線演奏等が繰り広げられたほか、豪華景品が当たるサマービンゴ大会で大いに盛り上がりました。夜は約500基の灯ろうが北上川に浮かび、フィナーレでは約1千発の花火が夜空を焦がしました。

桃生地区



7月18日(土)
桃生公民館

「ものう夢ネットワーク」 が発足

地域と行政による協働まちづくりを推進するための地域自治組織「ものう夢ネットワーク」が発足しました。市が進める地域自治システムに基づく組織で河南地区、山下地区に次いで3番目となります。本年度は公民館分館活動の再生や、植立山公園の植林、また未婚男女の出会いの場を創出する「恋活」も企画しています。

河南地区



7月12日(日)
河南東中学校校庭

有事に備え 新入団員が訓練

石巻消防団河南地区団に本年度入団した団員33人を対象に規律・教養訓練が行われました。先輩団員約200人も参加し若い力に期待を込めて指導しました。新団員たちは行進や敬礼の仕方等の基礎訓練を通してチームとしての規律を養ったほか、消防ポンプを使用する訓練では、有事の際に迅速で確かな操作ができるように消防団員としての素養を体で吸収していました。

牡鹿地区



8月6日(木)、7日(金)
網地白浜ほか

子どもたちが 牡鹿の自然を満喫

市教育委員会と大崎市教育委員会主催の「海の子山の子交流事業」には、牡鹿地区の小学校から23人、大崎市立鬼首小学校から8人の児童が参加しました。4回目となる今年は初めて牡鹿地区が会場になりました。子どもたちは、網地島で海水浴や釣り体験等を満喫した後、家族旅行村オートキャンプ場で星の観察会を行い、友情を深めました。

北上地区



8月8日(土)、9日(日)
十三浜白浜海水浴場

浜辺に響き渡る歓声

十三浜白浜海水浴場で今年も2日間限定の海開きが行われました。地元ばかりでなく市外からも親子連れ等が大勢訪れ、美しい砂浜と心地よい水の感触を満喫しました。9日は400人以上が参加した「海上大運動会」が開かれ、ビーチバレーや子ども対象の宝探しのほか、海上に敷かれたゴザの上を走り距離を競うゲーム等を楽しむ皆さんの歓声が浜辺に響きました。

石巻地区



7月29日(水)
市総合運動公園

未来へつなぐ 1000キロリレー

震災の風化防止を目的に、青森県から東京都までの7都県をランニングと自転車をつなぐ「未来への道1000キロ縦断リレー」が市内を通過しました。子どもや障害者も参加できる「ふれあいランニング区間」となった市総合運動公園では、陸上競技1,500mの日本記録保持者で元五輪選手の小林祐梨子さんと車いすバスケットボール選手の根木慎志さんが約50人と一緒に走りました。

石巻地区



7月19日(日)
中瀬公園

グルメやマンガで 大にぎわい

JR仙石線の全線再開と仙石東北ラインの開業記念の「繋がる想い いしのまき出発祭」と石ノ森萬画館の「マンガタンフェスティバル」が同時開催されました。県内外のご当地グルメの店が並んだほか、笹かまぼこやホタテ焼きが振る舞われ、どこも長い行列ができていました。ステージではアニメソングライブや石巻茶色い焼きそば早食い大会等が人気を集めました。